

戦争は、はるか遠い世界の出来事ではなく、
どこかで私たちともつながっている。
「夢は、ウクライナと日本とのつながりを
強くすること」と語る彼女
その真摯な声に耳を傾けてみませんか？

主催 茨城大学人文社会科学部市民共創センター
企画 伊藤哲司ゼミ（社会心理学）
長田華子ゼミ（アジア経済論）
付月ゼミ（国際人権法）
蓮井誠一郎ゼミ（国際政治学・平和学）

キーウ出身。関彰商事勤務
キーウ国立大学卒。国費留
学生として筑波大学大学院で
日本のお祭り研究を行った。

ご本人による
日本語での講演です

ウクライナの声

— 苦しみの中でも前に進む —

コルダエヴァ・アリョーナさん講演会

ハイブリッド開催 オンライン参加は事前申込制

日時 2024年2月21日（水）10時～12時

場所 茨城大学水戸キャンパス

人文社会科学部講義棟10番教室

学外のみなさま、公共の交通機関でお越しください
問い合わせ先：tetsuji.ito.64@vc.ibaraki.ac.jp（伊藤哲司）



オンライン参加
申込みはこちら

講演者 コルダエヴァ アリョーナさん



【プロフィール】

ウクライナのキーウ生まれ育ち。キーウ国立大学で日本語・日本文学を専攻し、学士と修士を修了。国費留学生として筑波大学大学院に入学し、人文社会科学研究所修士課程を修了。筑波大学で日本のお祭りに参加している外国人について研究を行った。戦争が始まりウクライナから避難して日本に戻り、関彰商事（つくば市）に入社。夢は、ウクライナと日本とのつながりを強くすること。

【講演概要】

はじめにウクライナの国について説明し、この戦争が始まったばかりのときに自分自身が経験したこと、また2023年末に一時帰国したときに見た事実を話します。戦時下のウクライナでの子どもたちの学びの様子などにも触れます。自分が避難したときは、本当に外国のボランティアに助けられました。人とのつながりがとても大切だと感じています。